

第34回埼玉県学童保育研究集会

子どもたちに安全で豊かな放課後を！

申し込み・お願い

1. 申し込み方法 郵便振替で入金し、その領収書のコピーと「申し込み用紙」を郵送ないしFAXして下さい。または、「申し込み用紙」を添えて現金書留で送って下さい。当日参加もできますが、準備の都合上、なるべく5月19日までに申し込んでください。午後の講座・分科会は定員になり次第打ち切りますので事前にご了承ください。
2. 事前申込後のキャンセルは5月19日まで受け付けます。その場合、事務費を差し引いた額を返金致します。
3. 保育所は準備しますが(4歳以上)、充分ではありませんので、なるべく地域で解決してください。必要とされる方は事前にお申し込み下さい。
4. なるべく電車でお越しください。

お申し込み・お問い合わせ先は
埼玉県学童保育連絡協議会
 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-1005
 TEL048(644)1571 FAX048(644)1572
http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/ e-mail: gakudoust@yahoo.co.jp
 郵便振替 00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

【会場地図】埼玉県立大学

(「せんげん台」駅西口下車 路線バス5分、徒歩20分)

2006年5月28日(日) 9:00開場
 埼玉県立大学(地図参照)
 参加費 2,300円(資料代込み、弁当代別700円)

----- 申 込 用 紙 -----

市町村名	氏 名	所属学童保育名
自宅住所		
電	(自宅)	印をつけてください
話	(職場)	保護者 指導員 他()
希望講座	1 () 2 () 3 () 必ず第3希望まで書いて	

* 参加費 2,300円 弁当代 700円 計()円を添えて申し込みます。

* 学童保育へようこそ！ 豊かな子育てをご一緒に *

新学期が始まり、ピカピカの1年生と保護者の方々を迎えました。指導員1年生の方もたくさんいらしゃるかと思います。

学童保育は、保育所のように朝夕保護者が送り迎えするのと違い、子ども自らが学校から帰って行かなければなりません。ですから、私たちは、学童保育が子どもが自分自身が一番出せる“居場所”となるように努めてきました。

学童保育には、子どもたちの生き生きとした姿があります。友だちとあそんだり、何かにとりくんだりしています。いたずらや悪さもします。時には、ケンカしたり、いじめたり・いじめられたりすることも。そんな当たり前の生活の中で子どもたちは育っていきます。

子どもは「預けっぱなし」では育ちません。だいたいの学童保育には保護者会・父母会などがあります。そこでは、子どもの育ちを中心に、指導員と保護者がともに相談・協力し合うことを大事にしています。最初はなかなか声を出しにくいでしょうが、是非、参加して話をしてみてください。

この研究集会も、保護者会などと同様、保護者と指導員(行政担当者の方も参加されています)と一緒に学童保育のいろんなことを学び合う場です。

たくさんの保護者と指導員の参加をお待ちしています。

主催 埼玉県学童保育連絡協議会
後援 埼玉県・埼玉新聞社

記念講演

お母さん、頑張りすぎないで！

～ 肩の力を抜いて、みんなで子育てをしましょう ～

牧 裕子さん（所沢市あかね保育園園長）

まき やすこ

1940年、東京生まれ。静岡県の乳児共同保育所こぐま保育園保母、こぐま保育園園長を経て、現在、埼玉県所沢市のあかね保育園園長。

第38回全国保育団体合同研究集会埼玉大会副実行委員長、埼玉県私立保育園連盟研修部長

著書『お母さん、頑張りすぎないで』（新日本出版社）。共著『年齢別保育実践 0歳児』（労働旬報社）、『子どもの声を聴く』（草土文化）、『親とつくるいい関係』（ひとなる書房）など多数。

わたしは、理想なお母さんになろうと思わないほうがいいな、と思います。なぜかという、悪いお母さんになるのも困りますけど、理想なお母さんになろうと思うと、ほかの人がみんな立派に見えるんです。何か自分のやってることが、これでいいのかなと、不安になります。（ 中略）

「わたらしい」というときは、そのお母さんの持っているいいところが前面に出るわけですから、そういうお母さんならいいじゃないですか。

そして、決して子育てで人とは競わないことです。みんなその子その子一人ひとりの子育て、その子が育っていくそれぞれのプロセスがあるはず。そして、一人ひとりの母親が、人間らしくゆったりとした子育てをするために、育児は一人ではなく、必ず、家庭の中でお父さんを交えて、地域ではお友だちと。そして、育児も自分の人生も一度っきりだから楽しもう。そして子どもとともに成長していこう、っていう気持ちを持ってほしいと思います。

何よりも、わが子の良さをしっかりつかんでほしいものです。だいたいお母さんに聞くと、自分の子の短所ならだれだって言います。「うちの子はほんとグズなんですよ」とか「あれはできないんですよ」とか「ほんとにわたしのいやなとこばかり似て」とか、悪いことはパッと見える。だけど、よく見て御覧なさい、悪いところ、お母さんが短所と思ってる場所は、裏返せば長所になる場所です。

だからぜひ、わが子の良さを知ってください。「うちの子はグズです。もう泣きべそでほんと困る」、でもよく見るとその子って、おっとりしてて優しく、お友達のことを気遣ったり、いいところがあるなあって、わたしたちは思います。「うちの子はもうそっかしくって、ほんとに落ち着きがなくて困ります」。でも、積極的に活発でいいなあってね。みんな無い物ねだりですね。自分に無いもの、それが整ったらいいなあと思うわけですが、子どもはその時分に無いものを、これから長い人生の中で子ども自身の力で補っていくのです。（牧裕子『お母さん、頑張りすぎないで』（新日本出版社）より）

日 程

9:00 9:30 12:00 13:00 16:00

受付	全体会	昼食	講座・分科会
----	-----	----	--------

内 容

全体会

ビデオによる県内の学童保育紹介
基調報告 埼玉県学童保育連絡協議会
10年、20年勤続の指導員の表彰

記念講演 「お母さん、頑張りすぎないで！

～ 肩の力を抜いて、みんなで子育てをしましょう ～」

【講師】牧裕子さん（所沢市あかね保育園園長）

講座・分科会（別紙参照）

* 記念講演講師の牧先生に、また午後の分科会の講師に、お話ししてもらいたいこと、お聞きしたいことなどがありましたらお書きください *